



美術家人名事典

—古今・日本の物故画家3500人



9784816921599

日外アソシエーツ 編

A5・730頁 定価(本体14,200円+税) ISBN978-4-8169-2159-9 2009年2月刊行

鳥羽僧正(鳥獸戯画)、雪舟(水墨画)、岩佐又兵衛(風俗画)、東洲斎写楽(浮世絵)、
岸田劉生(洋画)、棟方志功(木版画)、岡本太郎(現代芸術家)など

古代から現代まで、幅広い分野の人物を1冊に収録!!

● 平安時代から現代まで、日本絵画史の重要な物故画家3,500人の業績・主要作品を、1冊で調べられる人名事典です。

● 仏画、大和絵、水墨画、浮世絵、近代絵画(洋画・日本画)、版画、挿絵など、幅広い分野の画家・版画家を五十音順に収録。生没年、肩書、経歴、受賞歴、主要作品と別号などを記載しています。

● 「分野別索引」、別号からもひける「人名索引」付き。

収録人物例

藤原隆信/似絵(肖像画)の始祖 周文/水墨画 小栗宗湛/室町幕府御用絵師 土佐光信/土佐派を確立 狩野永徳/狩野派を大成 長谷川等伯/長谷川派を創始 雲谷等顔/雲谷派の祖 俵屋宗達/琳派 狩野山楽/狩野派の祖 本阿弥光悦/琳派 久隅守景/探幽四天王 尾形光琳/琳派 鳥居清信/浮世絵(役者絵) 鈴木春信/錦絵を創始 池大雅/文人画 与謝蕪村/文人画 円山応挙/円山派 伊藤若冲/花鳥画 喜多川歌麿/浮世絵(美人画) 司馬江漢/洋風画 亜欧堂田善/洋風画・銅版画 酒井抱一/江戸琳派 谷文晁/洋風画 渡辺華山/文人画 葛飾北斎/浮世絵 歌川広重/浮世絵(風景画) 歌川国芳/浮世絵 高橋由一/洋画 キヨソネ/銅版画 浅井忠/洋画 青木繁/洋画 黒田清輝/洋画 富岡鉄斎/文人画 竹久夢二/近代抒情画 速水御舟/日本画 藤島武二/洋画 上村松園/女性初の文化勲章 安井曾太郎/洋画 小林古徑/日本画 横山大観/日本画 梅原龍三郎/洋画 奥村土牛/日本画 池田満寿夫/銅版画 東山魁夷/日本画 小倉遊亀/日本画 加山又造/日本画

…など3,500人

2017.2

お問い合わせは… 日外アソシエーツ 営業局

TEL.03-3763-5241(代) FAX.03-3764-0845

〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 <http://www.nichigai.co.jp/>

| | | | |
|------|-----|--|---|
| ■貴店名 | 注文書 | 美術家人名事典—古今・日本の物故画家3500人 定価(本体14,200円+税) ISBN978-4-8169-2159-9 | 冊 |
| | | ■お名前 | |

古代から現代まで
幅広い分野の画家を通覧！

美術家人名事典—古今

武井 武雄 たけいぶ

童画家,版画家,

【生】明治27年(1894)
【没】昭和58年(1983)
【出生地】長野県 【学
京芸術大学) 洋画科(

「赤い鳥」「金の船
をめぐる童話童謡選
始め、大正12年「武
昭和2年日本童画家協
童画会を結成。戦前の
や、終戦直後の画文
で知られ、自ら名づ
地位にまで高めた。
19年日本版画協会会
また昭和10年以来、
こらした手づくり絵
「日本」づくりに力を
入れ、作品は139冊に及び、配本を受ける“刊
本作品友の会”会員には、永井路子・岡部冬彦・
芳村真理・飯沢匡らがいた。著書に童話「お
囃の卵」「ラムラム王」、絵本「あるき太郎」、
童画集「妖精伝奇」、エッセイ「本とその周辺」
「日本の郷土玩具」などの他、「武井武雄作
品集」(全3巻)「童画集」がある。平成10年
岡谷市にイルフ童画館が開館。【叙勲】紫綬
褒章【昭和34年】勲四等旭日小綬章【昭和42年】

竹内 栖鳳 たけうち

日本画家

【生】元治1年(1864年)11月22日
【没】昭和17年(1942年)8月23日
【本名】竹内恒吉【出身地】京都府【別名】旧
号=棲鳳【資格】帝国美術院会員,帝室技芸員

料亭・亀政の一人息子。幼い頃から絵に親しみ、
幸野樸嶺門下生時代、棲鳳の号を受け、新古
美術会、日本絵画協会などに出品。明治26年
シカゴ万国博、30年ベニス万国博に出品。32

竹久 夢二 たけひさ

画家,詩人

【生】明治17年(1884年)9月16日
【没】昭和9年(1934年)9月1日
【本名】竹久茂次郎【出生地】岡山県【学歴】
早稲田実業専攻科中退

一時文学の道を目ざすが絵画に転じ、藤島武
二の作品にあこがれ号を夢二とする。平民新
聞の諷刺画で知られ、24歳のとき結婚した最
初の妻・他万喜(たまき)らをモデルに眼の大
きな女性を描き、夢二の美人画として一世を
風靡した。昭和6~8年欧米に旅行。代表作に「切
支丹破天連渡来之図」、詩画集に「夢二画集」
「どんたく」「昼夜帯」「露台薄暮」、詩歌
集に「歌時計」「夢のふるさと」などがある。
ポスターなどのグラフィック・デザインにも
すぐれたものがある。没後もファン層は厚く、
ドラマや映画にしばしば取り上げられている。
平成6年には油彩画が、9年には日本画一点が、
11年には商業デザイン450点が新たに発見され
た。【記念館】竹久夢二美術館(東京都文京区
弥生),竹久夢二伊香保美術館(群馬県渋川市),
金沢湯涌夢二館(石川県金沢市),夢二郷土美術
館(岡山県岡山市)

建部 綾足 たけべ

俳人,国学者,画家

【生】享保4年(1719年)
【没】安永3年(1774年)3月18日
【本名】喜多村【別名】通称=金吾,俳号=涼袋
(リョウタイ),画号=寒葉斎【出生地】陸奥国弘
前(青森県)

陸奥国津軽藩家老喜多村氏の二男。20歳の時
に家出して各地を流浪。俳諧を志太野坡や和
田希因に師事し、俳人として活躍したが、の
ち長崎に遊学して、熊斐らに南画を学び画人

竹田 敬方 たけだ

日本画家 川端画学校教諭

【生】明治6年(1873年)2月7日
【没】昭和17年(1942年)12月4日
【本名】竹田源次郎【出生地】東京・銀座(現・
東京都中央区)【所属団体】日本美術協会,巽画会,
文墨協会(評議員),天真会(評議員),正派同志
会(評議員),明治絵画会(審査員)

はじめ日本画家の水野年方に人物画を、明治
24年からは川端玉章に山水画を学ぶ。以来、
画業に邁進し、青年絵画協会臨時展や内国勸
業博覧会などで作品を発表。34年の春と秋に
は日本美術院と日本絵画協会の共催による連
合絵画共進会で2回連続して二等褒状を受けた。
この間、日本美術協会や日本画会・巽画会の
会員としても活動し、34年文墨協会評議員。
40年に文展が開設すると、新派に対抗して結
成された正派同志会に参加し、評議員に推さ
れた。42年師・玉章が主宰する川端画学校の
教諭に就任し、後進の指導にも尽力。また、
明治絵画会の幹事・審査員も務めた。昭和2年
の日本美術協会展に「秋景」を出品するなど、
晩年に至るまで創作の手を休めることはなかつ
た。作品は他に、「源義家過勿来関」「少女
遊劇図」「曉霽」「塩原竜化瀑図」などがある。

としても知られた。宝暦13年(1763年)「片歌
道のはじめ」を発表し、俳諧を本来の古体
に戻すべきであるという“片歌説”を提唱。ま
た賀茂真淵にも入門し、この頃より俳諧を捨
てて、主に国学、和歌、随筆、小説などの文
筆活動を行った。著書に「西山物語」「本朝
水滸伝」など。

武部 本一郎 たけべ

挿絵画家

【生】大正3年(1914年)
【没】昭和55年(1980年)7月17日
【出生地】大阪府【所属団体】日本児童美術家連盟

絵本や表紙の挿絵で有名。高木敏子著「ガラ
スのうさぎ」や「ビルマの竖琴」「小公子」
ほか、パローズのSF作品の挿絵を手掛けた。
絵本に「かわいそうなぞう」「あほうどりの
しま」など多数。

田崎 草雲 たざき

日本画家

【生】文化12年(1815年)10月15日
【没】明治31年(1898年)9月1日
【本名】田崎雲【別名】諱=明義,字=崇徳,通称
=恒太郎,別号=梅溪,蓮岱山仙人,白石生【出生地】
江戸・神田小川町【資格】帝室技芸員(明治23年)

四条派のほか、和歌、俳句を学ぶ。天保5年20
歳の時、画家を志して脱藩、江戸で谷文晁、
春樹南溟らに師事、南画の粋を脱し、中国の
絵画に及ぶ独自の画風を確立した。剣は千葉門。
嘉永6年39歳の時、父の死で藩に復し、足利藩
御用絵師となる。幕末期、尊王運動に奔走、
民兵誠心隊を組織、総司令となって幕軍と戦つ
た。維新後、足利で画業に専念。明治15年第1
回内国絵画共進会で「山(春山曉霽)」「山水(秋

人名
職業/肩書き

生没年月日
本名/出身地
所属団体など

略歴・業績
主要作品など